

◆教科	保健	◆科目	保健Ⅰ(人体の構造及び機能)	◆授業の方法	講義
◆開講年度	2023年度	◆開講時期	1年(通年)	◆授業の回数	1h×30回
◆科目コード	11201	◆担当教員	非常勤講師		
◆授業の目的と概要	美容技術の基礎となる人体について、構造と機能に関する科学的、系統的な知識の習得を目的とし、人体各部の名称並びに頭部、顔部及び頸部の解剖学的特徴について理解するために学ぶ。				
◆到達目標	人体(頭部、顔部及び頸部に限る)の骨格、筋の種類、構造、機能、神経機能の仕組みについて理解すること。				
授業計画	回数	授業内容	教科書	授業の形式	備考
	1	第1章 頭部、顔部、頸部の体表解剖学 1、人体各部の名称、2、頭頸部…	P10～17	講義	
	2	〃		講義	
	3	〃		講義	
	4	第2章 骨角器系 1、骨の種類と構造、2、骨の連結、3、骨角器系と…	P18～25	講義	
	5	〃		講義	
	6	〃		講義	
	7	第3章 筋系、1、筋の種類と特徴 2、主な骨格筋とそのはたらき 3、表情	P26～29	講義	
	8	〃		講義	
	9	〃		講義	
	10	第1章～第3章の復習		講義	
	11	第4章 神経系、1、神経の成り立ち～3、中枢神経系とその…	P38～37	講義	
	12	〃		講義	
	13	〃		講義	
	14	第5章 感覚器系、1、視覚～6、皮膚感覚	P38～40	講義	
	15	〃		講義	
	16	〃		講義	
	17	第6章 血液と免疫系、1、血液のあらまし～3、アレルギー	P44～49	講義	
	18	〃		講義	
	19	〃		講義	
	20	第4章～第6章の復習		講義	
	21	第7章 循環器系、1、心臓のあらまし～4、リンパ管系の仕組み…	P48～55	講義	
	22	〃		講義	
	23	〃		講義	
	24	第8章 呼吸器系、1、呼吸器のあらまし～4、呼吸運動	P56～59	講義	
	25	〃		講義	
	26	〃		講義	
	27	第9章 消化器系、1、消化器のあらまし～4、消化と物質代謝	P60～69	講義	
	28	〃		講義	
	29	〃		講義	
30	第7章～第8章の復習		講義		
主な使用教材	『保健』(公益社団法人日本理容美容教育センター)				
評価方法及び基準	学期末テストの合計点数÷学期末テストの規定回数=評価点				
	90点～100点⇒A、70点～89点⇒B、60点～69点⇒C、59点以下⇒D				
	学期末テストを欠席した場合、追試験を受験することができる。ただし、追試験を受検して合格した場合、60点として成績評価する(学生のてびき第1章(3)①～⑥の理由で学期末テストを欠席した場合、素点で評価する)				
	規定回数の学期末テストが終了し、D評価の生徒については、再試験を受験しなければならない。 再試験を受検して合格した場合の評価はCとする。				

◆教科	保健	◆科目	保健Ⅱ(皮膚科学)	◆授業の方法	講義	
◆開講年度	2023年度	◆開講時期	1年(通年)	◆授業の回数	1h×30回	
◆科目コード	11202	◆担当教員	非常勤講師			
◆授業の目的と概要	美容師が行うカットやシャンプー技術などの業務を安全かつ効果的に行うためには、頭皮および毛髪の知識に基づいたプロの能力が必要になることから、皮膚、毛髪などに関する正確な科学的知識が不可欠であることを理解するために学ぶ。					
◆到達目標	お客さんからの頭皮、毛髪、肌の健康管理ができる知識と技術に対する要望に応えられるよう、皮膚や毛髪に関して深く理解することができる。					
授業計画	回数	授業内容	教科書		授業の形式	備考
	1	皮膚科学の学習目的	P1~7	P1	講義	
	2	第1章 皮膚の構造(皮膚の表面、表皮の断面)	P70~72	P2	講義	
	3	“(表皮)	P73~74	P3~4	講義	
	4	“(表皮と真皮の境、真皮、皮下組織、皮膚の部位差)	P75~79	P5~6	講義	
	5	復習(問題演習)第1章(2択問題)	P70~79	P7~8	講義	
	6	復習(問題演習)第1章(4択問題)	P70~79	P9~10	講義	
	7	第2章 皮膚付属器官の構造(毛)	P80~83	P11~12	講義	
	8	“(毛の型の変化、毛の成長、毛の性状、立毛筋)	P84~86	P13~14	講義	
	9	“(皮脂腺、汗腺、爪)	P86~89	P15~16	講義	
	10	復習(問題演習)第2章(2択問題)	P80~89	P17~18	講義	
	11	第1回目単元テスト(第1章~第2章)	P70~89	P19~20	講義	
	12	第3章 皮膚の循環器系と神経系(皮膚の血管、皮膚のリンパ管、皮膚の神経)	P90~93	P21	講義	
	13	第4章 皮膚と皮膚付属器官の生理機能(対外保護作用)	P94~96	P22	講義	
	14	“(体温調節作用)	P96~98	P23	講義	
	15	“(分泌排泄作用)	P99~102	P24	講義	
	16	“(吸収作用~爪の動き)	P102~105	P25~26	講義	
	17	復習(問題演習)第4章(2択問題)	P94~105	P27~28	講義	
	18	復習(問題演習)第4章(4択問題)	P94~105	P29~30	講義	
	19	第5章 皮膚と皮膚付属器官の保健(皮膚と全身状態~皮膚と体内病変)	P106~110	P31~32	講義	
	20	“(皮膚の水分と脂の状態、皮膚・付属器官とホルモン)	P111~117	P33~34	講義	
	21	“(皮膚の保護と手入れ~こどものおしゃれによる皮膚トラブル)	P118~127	P35~36	講義	
	22	復習(問題演習)第5章(2択問題)	P106~127	P37~38	講義	
	23	第2回目単元テスト(第4章~第5章)	P94~127	P39~40	講義	
	24	第6章 皮膚と皮膚付属器官の疾患(湿疹・蕁麻疹・薬疹等)	P128~145	P41~44	講義	
	25	“(温熱・寒冷による皮膚障害)	P145~155	P45~46	講義	
	26	“(化膿菌による皮膚疾患等)	P156~165	P47~48	講義	
	27	“(毛と爪の疾患等)	P165~175	P49~50	講義	
	28	復習(問題演習)第6章(2択問題)	P128~175	P51~52	講義	
	29	第3回目単元テスト(第6章)	P128~175	P53~54	講義	
	30	授業の総まとめ	P70~175	P55~56	講義	
主な使用教材	『保健』第2編(公益社団法人日本理容美容教育センター)					
評価方法及び基準	学期末テストの合計点数÷学期末テストの規定回数=評価点					
	90点~100点⇒A、70点~89点⇒B、60点~69点⇒C、59点以下⇒D					
	学期末テストを欠席した場合、追試験を受験することができる。ただし、追試験を受検して合格した場合、60点として成績評価する(学生のてびき第1章(3)①~⑥の理由で学期末テストを欠席した場合、素点で評価する)					
	規定回数の学期末テストが終了し、D評価の生徒については、再試験を受験しなければならない。 再試験を受験して合格した場合の評価はCとする。					

◆教科	化粧品化学	◆科目	化粧品化学1	◆授業の方法	講義
◆開講年度	2023年度	◆開講時期	1年(通年)	◆授業の回数	1h×15回(1年) 1h×15回(2年)
◆科目コード	11401	◆担当教員	谷口雅信		
◆授業の目的と概要	美容師として必要な化粧品についての社会的知識・常識、化学的な理解を深め、これからの美容の作業の中で判断したり、応用したりするのに役立つものにする。 化粧品についての法律的な規制から、化粧品原料や化粧品の種類について学ぶ。				
◆到達目標	化粧品の法的な規制、使用、保管上の注意点、またその化学的性質を理解し、正しく使用するための正確な知識を身につけること。				
授業計画	回数	授業内容	教科書	授業の形式	備考
	1	化粧品総論①化粧品とは	教科書P.8～12	講義	
	2	化粧品総論②化粧品の造形、効果と使用プロセス	教科書P.13～18	講義	
	3	化粧品の使用による症状	教科書P.19～24	講義	
	4	化粧品の定義と法規制	教科書P.25～34	講義	
	5	化粧品の安全性と安定性	教科書P.35～42	講義	
	6	確認テスト①	教科書P.8～42	講義	
	7	予備		講義	
	8	予備		講義	
	9	化粧品の成り立ち	教科書P.43～45	講義	
	10	水と親水性溶媒	教科書P.46～50	講義	
	11	油性原料① 油脂、ロウ類	教科書P.51～53	講義	
	12	油性原料② 炭化水素、その他の油性原料、油性原料の機能	教科書P.54～58	講義	
	13	確認テスト②	教科書P.43～58	講義	
	14	予備		講義	
	15	予備		講義	
	16	以後、2年次↓			
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
30					
主な使用教材	『化粧品化学』(公益社団法人日本理容美容教育センター)				
評価方法及び基準	学期末テストの合計点数÷学期末テストの規定回数=評価点 90点～100点⇒A、70点～89点⇒B、60点～69点⇒C、59点以下⇒D				
	学期末テストを欠席した場合、追試験を受験することができる。ただし、追試験を受検して合格した場合、60点として成績評価する(学生のてびき第1章(3)①～⑥の理由で学期末テストを欠席した場合、素点で評価する)				
	規定回数の学期末テストが終了し、D評価の生徒については、再試験を受験しなければならない。				
	再試験を受験して合格した場合の評価はCとする。				

◆教科	文化論	◆科目	文化論1	◆授業の方法	講義
◆開講年度	2023年度	◆開講時期	1年(通年)	◆授業の回数	1h× 30回
◆科目コード	11501	◆担当教員	非常勤講師		
◆授業の目的と概要	<p>人の歴史の最古から、美容がかかわってきたことを学ぶことは、今を知るためにとても重要である。</p> <p>歴史は、かつて人が生み出したデザインの宝庫であるからである。</p> <p>その知識と現代のものと融合することで新しいデザインの幅が広がり美容師としての更なる美の追求の為に学ぶ。</p>				
◆到達目標	<p>日本の歴史に興味を持ち、日本の美容が素晴らしい文化を持つる事を知る。</p> <p>そして、その文化に誇りを持ち、これから歴史を作っていく発信者としての志を持つこと</p> <p>結果として、文化論を理解し美容師として国家資格に必要な知識を持つこと</p>				
授業計画	回数	授業内容	教科書	授業の形式	備考
	1	オリエンテーション / 第1章 第1節 総論	P6～8	対面	
	2	第2章 1節 理容業・美容業の発生	P9～13	対面	
	3	第2章 2節 江戸時代の理容業・美容業	P13～16	対面	
	4	第2章 3節 近代の理容業・美容業	P17～21	対面	
	5	”	”	対面	
	6	第2章 4節 現代の理容業・美容業	P22～24	対面	
	7	単元テスト / 第3章 1節 縄文・弥生・古墳時代	P26～30	対面	
	8	”	”	対面	
	9	第3章 2節 古代(飛鳥・奈良・平安)	P31～39	対面	
	10	”	”	対面	
	11	”	”	対面	
	12	第3章 3節 中世(平安末・鎌倉・室町・戦国時代)	P40～45	対面	
	13	”	”	対面	
	14	第3章 4節 近世Ⅰ(戦国末・安土桃山時代)	P46～48	対面	
	15	単元テスト / 第3章 5節 近世Ⅱ(江戸時代)	P49～67	対面	
	16	以後、2年次↓			
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
主な使用教材	『文化論』(公益社団法人日本理容美容教育センター)				
評価方法及び基準	<p>学期末テストの合計点数÷学期末テストの規定回数=評価点</p> <p>90点～100点⇒A、70点～89点⇒B、60点～69点⇒C、59点以下⇒D</p> <p>学期末テストを欠席した場合、追試験を受験することができる。ただし、追試験を受検して合格した場合、60点として成績評価する(学生のてびき第1章(3)①～⑥の理由で学期末テストを欠席した場合、素点で評価する)</p> <p>規定回数の学期末テストが終了し、D評価の生徒については、再試験を受験しなければならない。</p> <p>再試験を受験して合格した場合の評価はCとする。</p>				

◆教科	美容技術理論	◆科目	美容技術理論1	◆科目コード	10701	◆授業の方法	講義・実習
◆開講年度	2023年度	◆開講時期	1年(前期)	◆担当教員	常勤教員	◆授業の回数	3h×10
◆授業の目的と概要	美容師国家試験の課題の一つであるワインディング。美容の全ての技術は、理論に基づくことを、まずこの科目によって学びます。						
◆到達目標	センター構成に至るまでの知識を習得し、美容技術理論2につなげられること。						
回数	授業の形式	授業内容	使用教材			備考	
1	講義	オリエンテーション					
2	講義	オリエンテーション					
3	講義	オリエンテーション					
4	講義・実習	テーブルセッティング、ブロッキング、上巻き	クランプ、ワインディングウィッグ、ワインディング用具一式(ロッドケース、ジャンボコーム、目盛り付コーム、ペーパー、白ゴム、水スプレー、割れない台皿、ラックス、ビニール袋)、白タオル1枚				
5	講義・実習	ブロッキング、上巻き、下巻き					
6	講義・実習	ブロッキング、下巻き					
7	講義・実習	ブロッキング、センター構成	クランプ、WDウィッグ、WD用具一式、白タオル1枚				
8	講義・実習	センター構成(上巻き、下巻きチェック)	クランプ、WDウィッグ、WD用具一式、白タオル1枚				
9	講義・実習	センター構成(上巻き、下巻きチェック)	クランプ、WDウィッグ、WD用具一式、白タオル1枚				
10	講義・実習	センター構成(上巻き、下巻きチェック)	クランプ、WDウィッグ、WD用具一式、白タオル1枚				
評価方法及び基準	この科目は、「美容技術理論2」→「WD1」へとつながっていく科目であるため、この科目のみでは履修の評価をせず、「WD1」の履修後、P(履修済み)として履修認定する。						
◆教科	美容技術理論	◆科目	美容技術理論2	◆科目コード	10702	◆授業の方法	講義・実習
◆開講年度	2023年度	◆開講時期	1年(通年)	◆担当教員	常勤教員	◆授業の回数	3h×10
◆授業の目的と概要	美容師国家試験の一つであるワインディング。ここでは、上巻き、下巻きの技術を理論とともに学び、オール構成まで実際に巻いてみる。						
◆到達目標	上巻き、下巻きを理解し、技術ができるようになること。						
回数	授業の形式	授業内容	使用教材			備考	
1	講義・実習	フロント7本構成	クランプ、ワインディングウィッグ、ワインディング用具一式(ロッドケース、ジャンボコーム、目盛り付コーム、ペーパー、白ゴム、水スプレー、割れない台皿、ラックス、ビニール袋)白タオル1枚			構成理解	
2	講義・実習	フロント7本構成の復習・バックサイド構成	クランプ、WDウィッグ、WD用具一式、白タオル1枚			構成理解	
3	講義・実習	フロント7本構成・バックサイド・サイドの構成	クランプ、WDウィッグ、WD用具一式、白タオル1枚			構成理解	
4	講義・実習	60分位オール縮髪に作ってみる。2頭は巻きたい。	クランプ、WDウィッグ、WD用具一式、白タオル1枚			構成理解	
5	講義・実習	55分オール前回より早めに巻いてみる。	クランプ、WDウィッグ、WD用具一式、白タオル1枚			構成理解	
6	講義・実習	フロント重視で1頭巻く。60分～75分	クランプ、WDウィッグ、WD用具一式、白タオル1枚			構成理解	
7	講義・実習	バックサイドのつながり、左右対称を重視で1頭巻く。60分～75分	クランプ、WDウィッグ、WD用具一式、白タオル1枚			構成理解	
8	講義・実習	オール55分	クランプ、WDウィッグ、WD用具一式、白タオル1枚			タイムアップ	
9	講義・実習	オール50分	クランプ、WDウィッグ、WD用具一式、白タオル1枚			タイムアップ	
10	講義・実習	オール50分	クランプ、WDウィッグ、WD用具一式、白タオル1枚			タイムアップ	
評価方法及び基準	この科目は、「美容技術理論1」をうけて、「WD1」へとつながっていく科目であるため、この科目のみでは履修の評価をせず、「WD1」の履修後、P(履修済み)として履修認定する。						

◆教科	美容技術理論	◆科目	美容技術理論3	◆授業の方法	講義	
◆開講年度	2023年度	◆開講時期	1年(通年)	◆授業の回数	1h× 30回	
◆科目コード	10703	◆担当教員	常勤教員			
◆授業の目的と概要	美容実習の内容を理論的に学び、より美容に対する知識を深め、理解し、興味を持ってもらう 今年度はグループワーク形式で行う					
◆到達目標	美容技術の基礎知識を確実に理解させる					
授業計画	回数	授業内容	教科書	授業の形式	備考	
	1	授業のオリエンテーション		講義		
	2	序章	P7～P14	講義		
	3	1章美容用具 道具 器具 機械 コーム ブラシ シザー レザー	P17～P27	講義		
	4	ピン類 ローラ ヘアアイロン ドライヤー スチーマー	P28～P35	講義		
	5	2章シャンプー	P39～P44	講義		
	6	リンス コンディショナー トリートメント	P52～P57	講義		
	7	スカルプトリートメント ヘッドSPA	P58～P65	講義		
	8	単元テスト		講義		
	9	4章ヘアカッティング	P91～P95	講義		
	10	正しい姿勢 ブロッキング	P96～P98	講義		
	11	ヘアカッティングの基礎理論 ベーシックなカット技法	P99～107	講義		
	12	7章ヘアカラーリング	P223～P227	講義		
	13	染毛メカニズム	P228～P229	講義		
	14	テスト対策		講義		
	15	単元テスト		講義		
	16	4章ヘアカッティング シザーによるカット技法	P108～P120	講義		
	17	レザーによるカット技法	P121～P128	講義		
	18	2章バックシャンプー サイドシャンプー	P45～P59	講義		
	19	7章ヘアカラーリング 色の基本 毛髪レベルとアンダートーン	P230～P235	講義		
	20	パッチテスト 染毛の手順 注意事項	P235～P244	講義		
	21	テスト対策		講義		
	22	単元テスト		講義		
	23	3章デザイン 錯視とデザイン要素	P69～P79	講義		
	24	デザインの原理 シンメトリーバランスなど	P80～P88	講義		
	25	5章パーマ 毛髪の構造とパーマ分類	P131～P138	講義		
	26	パーマ剤の注意事項技術 プレ処理 WDまで	P138～P145	講義		
	27	1剤塗布～スタイリング WDのバリエーション	P146～P150	講義		
	28	テスト対策		講義		
	29	単元テスト		講義		
	30	最後のまとめ		講義		
主な使用教材	『美容技術理論1』(公益社団法人日本理容美容教育センター)					
評価方法及び基準	学期末テストの合計点数÷学期末テストの規定回数=評価点 90点～100点⇒A、70点～89点⇒B、60点～69点⇒C、59点以下⇒D					
	学期末テストを欠席した場合、追試験を受験することができる。ただし、追試験を受検して合格した場合、60点として成績評価する(学生のでびき第1章(3)①～⑥の理由で学期末テストを欠席した場合、素点で評価する)					
	規定回数の学期末テストが終了し、D評価の生徒については、再試験を受験しなければならない。					
	再試験を受験して合格した場合の評価はCとする。					

◆教科	美容実習	◆科目	BASIC1 (シャンプー・トリートメント)	◆科目コード	10815	◆授業の方法	実習
◆開講年度	2023年度	◆開講時期	1年(通年)	◆担当教員	専任教員 (実務経験あり)	◆授業の回数	3h×20回
◆授業の目的と概要	サロンワークで実践できる技術を習得するため、サロンで実務経験のある教員が、シャンプーの基礎知識・手技を指導する。						
◆到達目標	バックシャンプー・サイドシャンプー・ヘッドスパトリートメントの技術習得。						
回数	授業内容①	授業内容②	商材	持ち物	備考		
1	バックシャンプー①		hoyuプロマスター	モカタオル3枚、シャンプークロス、ダックカール2本、マスク	頭を濡らして乾かします オイルやスタイリング剤は各自持ってくる		
2	バックシャンプー②		hoyuプロマスター	モカタオル3枚、シャンプークロス、ダックカール2本、マスク	頭を濡らして乾かします オイルやスタイリング剤は各自持ってくる		
3	バックシャンプー③		hoyuプロマスター	モカタオル3枚、シャンプークロス、ダックカール2本、マスク	頭を濡らして乾かします オイルやスタイリング剤は各自持ってくる		
4	サイドシャンプー①/ バックシャンプー④		hoyuプロマスター	モカタオル3枚、シャンプークロス、ダックカール2本、マスク	頭を濡らして乾かします オイルやスタイリング剤は各自持ってくる		
5	サイドシャンプー②/ バックシャンプー⑤		hoyuプロマスター	モカタオル3枚、シャンプークロス、ダックカール2本、マスク	頭を濡らして乾かします オイルやスタイリング剤は各自持ってくる		
6	バックシャンプー⑥	トリートメント	マイフォース	モカタオル3枚、シャンプークロス、ダックカール2本、マスク	頭を濡らして乾かします オイルやスタイリング剤は各自持ってくる		
7	バックシャンプー⑦	トリートメント	マイフォース	モカタオル3枚、シャンプークロス、ダックカール2本、マスク	頭を濡らして乾かします オイルやスタイリング剤は各自持ってくる		
8	サイドシャンプー③		hoyuプロマスター	モカタオル3枚、シャンプークロス、ダックカール2本、マスク	頭を濡らして乾かします オイルやスタイリング剤は各自持ってくる		
9	サイドシャンプー④	サイドシャンプー技術 チェック対策	hoyuプロマスター	モカタオル3枚、シャンプークロス、ダックカール2本、マスク	頭を濡らして乾かします オイルやスタイリング剤は各自持ってくる		
10	サイドシャンプー⑤	サイドシャンプー技術 チェック	hoyuプロマスター	モカタオル3枚、シャンプークロス、ダックカール2本、マスク	頭を濡らして乾かします オイルやスタイリング剤は各自持ってくる		
11	サイドシャンプー⑥	トリートメント	マイフォース	モカタオル3枚、シャンプークロス、ダックカール2本、マスク	頭を濡らして乾かします オイルやスタイリング剤は各自持ってくる		
12	サイドシャンプー⑦	トリートメント	マイフォース	モカタオル3枚、シャンプークロス、ダックカール2本、マスク	頭を濡らして乾かします オイルやスタイリング剤は各自持ってくる		
13	バックシャンプー⑧	トリートメント	ナシード	モカタオル3枚、シャンプークロス、ダックカール2本、マスク	頭を濡らして乾かします オイルやスタイリング剤は各自持ってくる		
14	バックシャンプー⑨	トリートメント	ナシード	モカタオル3枚、シャンプークロス、ダックカール2本、マスク	頭を濡らして乾かします オイルやスタイリング剤は各自持ってくる		
15	バックシャンプー⑩	ヘッドスパ	リルラ	モカタオル3枚、シャンプークロス、ダックカール2本、マスク	頭を濡らして乾かします オイルやスタイリング剤は各自持ってくる		
16	バックシャンプー⑪	ヘッドスパ	リルラ	モカタオル3枚、シャンプークロス、ダックカール2本、マスク	頭を濡らして乾かします オイルやスタイリング剤は各自持ってくる		
17	バックシャンプー⑫	ヘッドスパ	リルラ	モカタオル3枚、シャンプークロス、ダックカール2本、マスク	頭を濡らして乾かします オイルやスタイリング剤は各自持ってくる		
18	バックシャンプー⑬	ヘッドスパ	リルラ	モカタオル3枚、シャンプークロス、ダックカール2本、マスク	頭を濡らして乾かします オイルやスタイリング剤は各自持ってくる		
19	バックシャンプー⑭	ヘッドスパ技術チェック 対策	リルラ	モカタオル3枚、シャンプークロス、ダックカール2本、マスク	頭を濡らして乾かします オイルやスタイリング剤は各自持ってくる		
20	バックシャンプー⑮	ヘッドスパ技術チェック	リルラ	モカタオル3枚、シャンプークロス、ダックカール2本、マスク	頭を濡らして乾かします オイルやスタイリング剤は各自持ってくる		
評価方法 及び基準	10回目のサイドシャンプー技術チェック、20回目のヘッドスパ技術チェックにおいて、それぞれ、A→50点、B→40点、C→30点、D→0点で点数化し、						
	2回の合計点をシャンプーの点数とする。						
	【評価】90～100点→A評価 70～89点→B評価 60～69点→C評価 0～59点→D評価						
	①追試験を受験して合格した場合、60点として評価する。(学校が適当と認めた理由により受験した場合はその限りではない)。						
	②試験または追試験の結果が59点以下の場合、再試験の受験(学校が指定した課題の提出に代える場合あり)を義務づける。						
③再試験を受験(学校が指定した課題の提出)して合格した場合、60点として評価する。							

◆教科	美容実習	◆科目	BASIC2 (カット・ヘアカラー)	◆科目コード	10816	◆授業の方法	実習
◆開講年度	2023年度	◆開講時期	1年(通年)	◆担当教員	専任教員 (実務経験有)	◆授業の回数	3h×50回
◆授業の目的と概要	<p>【カット】現在、旬のスタイルをいくつか紹介し、それを、サロンで実務経験のある教員が、サロンワークへの活用法について教える。また、自分でデザインしたカットができるように教えたり、国家試験課題(カット)との関連性についても説明する。</p> <p>【ヘアカラー】基本的な簡単デザインカラーをいくつか紹介し、それを、サロンで実務経験のある教員が、サロンワークへの活用法について教える。また、自分のイメージを実際にデッサン画に起こし、ウィッグでカラーを用いた作品を作る。</p>						
◆到達目標	<p>【カット】基礎を学び、デザインできる力をつける。</p> <p>【ヘアカラー】ウィッグカラーの基礎技術習得。ダブルカラー技術を用いて、ウィッグで作品作りができる。</p>						
回数	授業内容	持ち物	使用ウィッグ				
カット1	ワンレングス練習 国試ウィッグ①	カット道具一式(シザー、ダックカール、コーム類、白トレー、スプレイヤー、セーム革、オイル、タオル、クランプ)	ウィッグ① 国試①※ウィッグ①カラー3へ				
カット2	ワンレングス	カット道具一式 名前ペン	ウィッグ②				
カット3	国試ウィッグ② 点と点をつなぐカット WDカット前練習	カット用具一式・定規・リングコーム メモリ付き・WDゴム20個	国試②				
カット4	アレンジウィッグカット コテ巻き	カット道具一式 26mmコテ	アレンジウィッグ				
カット5	グラデーション	カット道具一式 名前ペン	ウィッグ②				
カット6	グラデーション質感調整	カット道具一式 26mmコテ	ウィッグ② *パーマ12へ ST終わり				
カット7	ボブ	カット道具一式 名前ペン	ウィッグ③				
カット8	ボブ質感調整	カット道具一式 26mmコテ	ウィッグ③				
カット9	ショート	カット道具一式 名前ペン	ウィッグ③				
カット10	ショート質感調整	カット道具一式 26mmコテ トリートメント	ウィッグ③				
カット11	レイヤー	カット道具一式 名前ペン	ウィッグ④				
カット12	レイヤー質感調整	カット道具一式 26mmコテ トリートメント	ウィッグ④ *カラー7へ				
カット13	ウルフ	カット道具一式 名前ペン	ウィッグ⑤				
カット14	ウルフ 質感調整	カット道具一式 26mmコテ トリートメント	ウィッグ⑤ *カラー16へ				
カット15	国試ウィッグ③④ 刈り上げ	カット道具一式	国試ウィッグ③④ 5月末到着				
カット16	メンズショート	カット道具一式	ウィッグ③ *カラー19へ				
カット17	マッシュ	カット道具一式	ウィッグ①				
カット18	マッシュ質感調整	カット道具一式 26mmコテ	ウィッグ①				
カット19	メンズ センターパート 外部講師	カット道具一式 26mmコテ	ウィッグ④*カラー15より パーマ19へ				
カット20	作品作り	カット道具一式、名前ペン カットのプリント	ウィッグ⑥*カラー22へ				
カット21	作品作り	カット道具一式 26mmコテ カットのプリント	ウィッグ⑥*カラー24より カラー25へ				
カット22	WDカット(ブロッキング、カット)	WDウィッグ・カット用具一式・定規・リングコーム・メモリ付き・WDゴム20個	国試WDウィッグ				
カット23	WDカット	WDウィッグ・カット用具一式・定規・リングコーム・メモリ付き・WDゴム20個	国試WDウィッグ				
カット24	WDカット	WDウィッグ・カット用具一式・定規・リングコーム・メモリ付き・WDゴム20個	国試WDウィッグ				
カット25	WDカット(カット、シャンプー)	WDウィッグ・カット用具一式・定規・リングコームメモリ付き・WDゴム20個・実習白タオル	国試WDウィッグ				
ヘアカラー1	一般知識・カラー剤について	筆記用具、マーカペン	パッチテスト				
ヘアカラー2	絵の具・塗り絵・色相環	モカタオル1枚、油性ペン、	ラップ配布				
ヘアカラー3	グレイカラー 塗布練習① ハケの使い方 塗布の仕方 グレイカラーの仕組み	カラー道具一式(ウィッグ、モカタオル3枚、クランプ、ダックカール、スプレイヤー)	ウィッグ①ワンレングス				
ヘアカラー4	ワンメイク 塗布練習 塗布の仕方・手順 トーンアップについて	カラー道具一式	ウィッグ①				
ヘアカラー5	ワンメイク ライトナー	カラー道具一式、ラップ	ウィッグ①				
ヘアカラー6	ワンメイク プリーチ剤	カラー道具一式、トリートメント、ラップ	ウィッグ①				
ヘアカラー7	リタッチ 塗布練習① 塗布の仕方・手順	カラー道具一式	ウィッグ①				
ヘアカラー8	リタッチ 塗布練習② 塗布手順確認	カラー道具一式	ウィッグ①				
ヘアカラー9	リタッチ チェック トレクリ	カラー道具一式	ウィッグ①				
ヘアカラー10	色味出し検証 半永久染毛料	カラー道具一式、白ゴム13本、トリートメント、ラップ	ウィッグ①				
ヘアカラー11	ホイルワーク スライジング練習 トレクリ	カラー道具一式	ウィッグ④レイヤー				
ヘアカラー12	ホイルワーク スライジング プリーチ剤	カラー道具一式、ラップ	ウィッグ④				
ヘアカラー13	ホイルワーク ウィーピング練習 トレクリ	カラー道具一式	ウィッグ④				
ヘアカラー14	ホイルワーク ウィーピング プリーチ剤	カラー道具一式、ラップ	ウィッグ④				
ヘアカラー15	デザインカラー プリーチ 半永久染毛料	カラー道具一式、トリートメント、ラップ	ウィッグ⑤ウルフ				
ヘアカラー16	インナーカラー プリーチ Wプリーチ	カラー道具一式、トリートメント、ラップ	ウィッグ⑤				
ヘアカラー17	酸化染毛剤	カラー道具一式、トリートメント、ラップ、油性ペン	ウィッグ⑤				
ヘアカラー18	アレンジウィッグ ハイライト プリーチ	カラー道具一式、トリートメント、ラップ	アレンジウィッグ				
ヘアカラー19	メンズハイライト プリーチ カラーシャンプー	カラー道具一式、トリートメント、ラップ	ウィッグ③メンズショート				
ヘアカラー20	外部講師(メーカー&講師)	スマホ					
ヘアカラー21	デザインカラー作品作り① イメージ画デッサン	筆記用具、色鉛筆					
ヘアカラー22	デザインカラー作品作り② プリーチ ベース作り	カラー道具一式、ラップ	ウィッグ⑥				
ヘアカラー23	デザインカラー作品作り③ プリーチ 色入れ	カラー道具一式、トリートメント、ラップ	ウィッグ⑥				
ヘアカラー24	デザインカラー作品作り④ 色入れ 仕上げ	カラー道具一式、トリートメント、ラップ	ウィッグ⑥				
ヘアカラー25	デザインカラー作品発表・反省・評価	カラー道具一式、デッサン画	ウィッグ⑥				
◆評価方法及び基準	カットもヘアカラーも、イメージしたデッサンがどれだけ作品に再現されているか(再現性)を評価のポイントとする。						
	【カット】20回目、21回目で作成した作品によって、A→50点、B→40点、C→30点、D→0点で評価する。						
	【ヘアカラー】カットの授業でカットしたウィッグに、イメージ画をデッサンして、カラーを施す。その作品により、A→50点、B→40点、C→30点、D→0点で評価する。						
	【評価】カットとヘアカラーの点数を合計し、90～100点→A評価 70～89点→B評価 60～69点→C評価 0～59点→D評価 ①追試験を受験して合格した場合、60点として評価する。(学校が適当と認めた理由により受験した場合はその限りではない)。 ②試験または追試験の結果が59点以下の場合、再試験の受験を義務づける。 ③再試験を受験して合格した場合、60点として評価する。						

◆教科	美容実習	◆科目	BASIC3 (アレンジ・パーマ)	◆科目コード	10817	◆授業の方法	実習
◆開講年度	2023年度	◆開講時期	1年(通年)	◆担当教員	専任教員 (実務経験有)	◆授業の回数	3h×50回
◆授業の目的と概要	【アレンジ】アレンジの基礎と応用を学ぶ 【パーマ】サロンワークで行う様々なワインディングを経験し、実際に薬液を使ってパーマの行程を身につける。						
◆到達目標	【アレンジ】基礎ができるようになる・スタイルが作れるようになる 【パーマ】頭部の丸みに合わせて、ロッドを巻くことができるようになる						
回数	授業内容		持ち物			備考	
アレンジ 1	物品配布	★アレンジ用具一式 (アレンジウィッグ、名前ペン、クレイックアイロン26ミリ、カールアイロンポーチ、ピンケース(中にピン類、黒ゴム、PUバンド)、頭皮ケアブラシ、ファイナルコーミング001、Nポリッシュオイル、毛たば、コットンパッド、タックカー、クランプ、白タオル、プロトアル(毛カ)1枚) 工作ハサミ、名前ペン					
2	ウィッグシャンプー・みつあみ・編み込み	★アレンジ用具一式、ジャンボコーム、実習タオル2枚(白)、トリートメント					
3	基礎・簡単アレンジ	★アレンジ用具一式					
4	ミディアム巻き	★アレンジ用具一式(ウィッグは カット①のワンレン)			ウィッグ①使用 (カットでワンレン)		
5	ミディアムアレンジ	★アレンジ用具一式(ウィッグは カット①のワンレン)			ウィッグ①使用 (カットでワンレン)		
6	コテ巻き・ハーフアップ	★アレンジ用具一式					
7	外部講師による授業	★アレンジ用具一式					
8	DIY(フラワー・パール)	★アレンジ用具一式、工作ハサミ					
9	外部講師による授業	筆記用具、スマホ					
10	前回の復習	★アレンジ用具一式、髪飾り					
11	DIY(リボン)・ツイテール	★アレンジ用具一式、工作ハサミ、髪飾り、ジャンボコーム、実習タオル2枚(白)、トリートメント					
12	アップスタイル	★アレンジ用具一式、髪飾り					
13	ゴム結び・隠しピンチェック	★アレンジ用具一式					
14	ホットカーラー巻・アップスタイル	★アレンジ用具一式、髪飾り					
15	抱き合わせ・和セット	★アレンジ用具一式					
16	三編み・編み込みチェック/ウィッグシャンプー	★アレンジ用具一式、ジャンボコーム、実習タオル2枚(白)、トリートメント					
17	外部講師による授業	★アレンジ用具一式、髪飾り					
18	旬アレンジ	★アレンジ用具一式、髪飾り					
19	三編みアレンジ	★アレンジ用具一式、髪飾り					
20	外部講師による授業	★アレンジ用具一式、髪飾り					
21	相モデル	★アレンジ用具一式					
22	自由作品 計画・練習	★アレンジ用具一式、筆記用具、スマホ					
23	自由作品	★アレンジ用具一式					
24	相モデル 計画・練習/ウィッグシャンプー	★アレンジ用具一式、ジャンボコーム、実習タオル2枚(白)、トリートメント					
25	相モデル	★アレンジ用具一式					
パーマ・ デザイン1	デザイン巻き フロント斜めに巻いてみる	クランプ、ワインディングウィッグ、ワインディング用具一式 (ロッドケース、ジャンボコーム、自盛り付コーム、ペーパー、白ゴム、 ホスプレー、割れない台皿、ラック袋、ビニール袋) 白タオル1枚			WDウィッグ	パッチテスト	
2	2人でフロントを完成させる(ヘルプの練習)					ラップ配布	
3	デザイン巻き バックサイド・サイドを巻いてみる					ウィッグ①ワンレンス	
4	2人でバックサイド・サイドを完成させる(ヘルプの練習)	クランプ、WDウィッグ、WD用具一式、白タオル1枚			WDウィッグ	ウィッグ①	
5	デザイン巻き バックサイド左右対称に巻く	クランプ、WDウィッグ、WD用具一式、白タオル1枚			WDウィッグ	ウィッグ①	
6	2人で引き出し角度を確認して巻く(ヘルプの練習)	クランプ、WDウィッグ、WD用具一式、白タオル1枚			WDウィッグ		
7	頭の丸みを考えて巻く	クランプ、WDウィッグ、WD用具一式、白タオル1枚			WDウィッグ		
8	スタイル巻き 全頭完成させる	クランプ、WDウィッグ、WD用具一式、白タオル1枚			WDウィッグ		
9	上巻き、下巻きの復習	クランプ、WDウィッグ、WD用具一式、白タオル1枚			WDウィッグ		
10	1本巻きタイムアップ				WDウィッグ		
11	グラデーションパーマWD	クランプ、カットウィッグ、WD用具一式(ロッドケース以外)、タオル5枚、 タックカー、ゴミ袋、濡れたタオル持ち帰る袋、トリートメント			ウィッグ②	※次回ストレートします	
12	グラデーションパーマ薬液実習・スタイリング						
13	パーマ理論	筆記用具、WD道具一式、白タオル1枚			WDウィッグ		
14	縦巻きの毛先巻き ゴム掛け(クロス掛け)・逆巻き	クランプ、WDウィッグ、WD用具一式、白タオル1枚			WDウィッグ		
15	縦巻きの中間巻き ゴム掛け(たすき掛け)・波巻き	クランプ、WDウィッグ、WD用具一式、白タオル1枚			WDウィッグ		
16	いろんなロッドを巻いてみよう！(ビックロッド、ロングロッド、円錐ロッド)	クランプ、アレンジウィッグ、WD用具一式、白タオル1枚			アレンジウィッグ		
17	ストレートアイロン、薬液実習	クランプ、カットウィッグ、WD用具一式(ロッドケース以外)、 白タオル4枚、タックカー、ゴミ袋、濡れたタオル持ち帰る袋			ウィッグ②		
18	パーマヘルプ(3人1組) クラス替え後	クランプ、WDウィッグ、WD用具一式、白タオル1枚			WDウィッグ		
19	メンズデザインWD(スパイラル)	クランプ、カットウィッグ、WD用具一式(ロッドケース以外)、 白タオル4枚、タックカー、ゴミ袋、濡れたタオル持ち帰る袋			ウィッグ④	※使用後廃棄	
20	メンズデザイン(スパイラル)薬液実習・スタイリング						
21	AWシャンプー・ブロッキング	クランプ、AWウィッグ、自盛り付コーム、白ゴム、白タオル4枚、 タックカー、ホスプレー			AWウィッグ		
22	AWカット	クランプ、AWウィッグ、自盛り付コーム、白ゴム、白タオル2枚、 タックカー、シザー、ホスプレー					
23	AWパーマ	クランプ、AWウィッグ、WD用具一式(ロッドケース以外)、 白タオル4枚、タックカー、ゴミ袋、ビニールシート					
24	AWパーマ						
25	AWウィッグ セニング	クランプ、AWウィッグ、自盛り付コーム、カットコーム、 白タオル2枚、タックカー、ホスプレー					
◆評価方法及び基準	【アレンジ】13回目、16回目の授業でそれぞれ評価する 各回 A→25点、B→20点、C→15点、D→0点で評価する。 【パーマ・デザイン】オールウェーブのウィッグの完成で50点 【評価】アレンジとパーマ・デザインの点数を合計し、90→100点→A評価 70→89点→B評価 60→69点→C評価 0→59点→D評価 ①追試験を受験して合格した場合、60点として評価する。(学校が適当と認めた理由により受験した場合はその限りではない)。						

②試験または追試験の結果が59点以下の場合、再試験の受験を義務づける。
③再試験を受験して合格した場合、60点として評価する。
③再試験を受験して合格した場合、60点として評価する。

◆教科	美容総合実習	◆科目	M&B	◆科目コード	20201	◆授業の方法	実習
◆開講年度	2023年度	◆開講時期	1年(通年)	◆担当教員	常勤講師・非常勤講師	◆授業の回数	3h×20
◆授業の目的と概要	国家試験の課題であるWD、AW、カット、サロンワークで主に用いられるシャンプーやカラー以外にも、美容実習課題として学ぶべき科目はあります。 ここでは、メイクやまつエク、特殊技術であるエステ、ネイル、和装技術である着付けを学びます。						
◆到達目標	ここで学ぶ技術の目的、種類、特徴等を理解し、10月からのコース選択にあたっての判断材料とできること。						
回数	授業内容①	授業内容②	授業内容②	備考			
1	メイク	物品配布・セルフスキンケア・メイクの基礎知識・顔写真撮影	油性の名前ペン・箱のマスク・ダックカール2本 ※お化粧品直しがしたい人は自分の化粧品も	すっぴんで来る			
2	メイク	スキンケア・コントロールカラー・ファンデーション・パウダー・アイブロウ	メイクバック	すっぴんで来る			
3	メイク	スキンケア・アクアパック・フェイスマッサージ	メイクバック	すっぴんで来る			
4	メイク	スキンケア・ベース・ハイロー・チーク・アイブロウ	メイクバック	すっぴんで来る			
5	メイク	スキンケア・ベース・アイメイク(アイブロウ)	メイクバック	すっぴんで来る			
6	メイク	リップ・フルメイク	メイクバック	すっぴんで来る			
7	メイク	フルメイク評価	メイクバック	すっぴんで来る			
8	メイク	ゴールデンバランス	メイクバック・定規・色鉛筆	メイクしてきて良い			
9	メイク	メンズメイク	メイクバック	メイクしてきて良い			
10	メイク	特殊メイク	メイクバック	メイクしてきて良い			
11	ネイル	ネイルケアデモ、ネイルケア相モデル実習、爪磨き	モカタオル2枚	マスク着用			
12	ネイル	カラーリングデモ、カラーリング相モデル実習	モカタオル2枚	マスク着用			
13	ネイル	フリーアート作品制作	モカタオル1枚、油性ペン、携帯を使うので充電満タんに				
14	まつえく	まつ毛エクステンション装着体験、概論	筆記用具、マスク、タオル2枚(洗濯済のもの) 髪の毛をまとめるゴム、ダックカールなど、 工作ばさみ	薬液を使います			
15	まつえく	まつ毛エクステンション装着、オフ					
16	エステ	使用化粧品紹介、パッチテスト、次回使用したい品目決め	タオル2枚、ボールペン1、メイク授業バック		※1、2回目(パッチテスト、トリートメント)ともウデに行いますので、ウデの出せる服装にしてください		
17	エステ	パッチテスト結果確認後ウデにフルコーストリートメントを行う	タオル2枚、ボールペン1、メイク授業バック				
18	着付け	和室でのマナー、挨拶 自装(女性用浴衣)					
19	着付け	他装(女性用浴衣、男子用浴衣)浴衣たたみ方	半袖Tシャツ(長Tシャツ)、ハーフパンツ(長パンツ)、 靴下(履き替え用)、マスク、髪の毛をまとめるゴム、 ヘアクリップ ※靴下がないと量にあげられません	手袋は、毎回授業内で配布します 着替えは授業内です。 教室で着替えないようにしてください			
20	着付け	他装(女性用浴衣、男子用浴衣)					
評価方法及び基準	各科目20点ずつの配点で、5科目100点満点で評価します。						
	【評価】90～100点→A評価 70～89点→B評価 60～69点→C評価 0～59点→D評価						
	メイク→7回目の授業において、フルメイクテストで評価						
	ネイル→ネイルケア、カラーリングの理解、アート作品の仕上がりに						
	まつエク→2回目の授業で技術チェックをする。出来栄ではなく体験学習を重要視する。						
	エステ→出席点(1コマ3ポイント、3コマ全て出席で+1ポイント)						
	着付け→3回の授業で履修評価(A評価→20点、B評価→16点、C評価→12点)						
①5科目の合計点が59点以下の場合、担当教員が指定した課題の提出を義務づける。							
③再試験を受験して履修認定された場合、C評価とする。							

◆教科	教養文化	◆科目	接客マナー	◆科目コード	20306	◆授業の方法	講義
◆開講年度	2023年度	◆開講時期	1年(通年)	◆担当教員	常勤教員・非常勤講師	◆授業の回数	1h×30
◆授業の目的と概要	この単元では、就職活動における面接の際や、将来、美容室で就職した時に、知っておくべき一般的マナーを学ぶ。						
◆到達目標	就職活動や、美容室で就職した際に、失礼のない受け答えができるようになること。						
回数	授業の形式	授業内容①	授業内容②			使用教材	備考
1	講義	一般マナー	1.マナーの基本、2.お辞儀(座礼)の種類、3.態度(立居振舞)、4.好感をもたれる話し方			プリント	
2	講義	一般マナー	1.訪問のマナー、2.来客対応、3.席次のマナー、4.電話対応の基本			プリント	
3	講義	一般マナー	1.クレーム電話の対処法、2.クレーム(電話)の注意点、3.六曜、4.長寿祝い			プリント	
4	講義	一般マナー	1.主な伝統行事(お正月)、2.主な伝統行事(おせち)、3.主な年中行事(年賀状)、4.主な伝統行事(お盆)			プリント	
5	講義	一般マナー					
6	講義	一般マナー					
7	講義	一般マナー					
8	講義	一般マナー					
9	講義	一般マナー					
10	講義	就職	就職活動の仕方やスケジュールを理解しよう				
11	講義	就職	美容室の選び方を学ぼう				
12	講義	就職	就職ガイダンスに参加して、美容室のオーナーさんや従業員の方と話してみよう			就職ガイダンス案内	
13	講義	就職	就職ガイダンスに参加して、美容室のオーナーさんや従業員の方と話してみよう			就職ガイダンス案内	
14	講義	就職	就職ガイダンスに参加して、美容室のオーナーさんや従業員の方と話してみよう			就職ガイダンス案内	
15	講義	就職					
16	講義	就職					
17	講義	就職					
18	講義	就職					
19	講義	就職					
20	講義	就職					
21	講義	就職					
22	講義	就職					
23	講義	就職					
24	講義	就職					
25	講義	サロンワーク					
26	講義	サロンワーク					
27	講義	サロンワーク					
28	講義	サロンワーク					
29	講義	サロンワーク					
30	講義	サロンワーク					
評価方法及び基準	出席点=出席コマ数+授業コマ数×100						
	【評価】90～100点→A評価 70～89点→B評価 60～69点→C評価 0～59点→D評価						
	出席点が59点以下の場合、担当教員の指定した課題を提出することにより、C評価(60点)として評価する。						

◆教科	教養文化	◆科目	カルチャー1	◆科目コード	20308	◆授業の方法	講義
◆開講年度	2023年度	◆開講時期	1年(通年)	◆担当教員	常勤教員・非常勤講師	◆授業の回数	3h×40
◆授業の目的と概要	美容業に必要な実践的な能力を高めることができると思われる内容をピックアップし、社会生活における基本的規範やコミュニケーション技術などを学ぶことにより、社会人としての心構えを養うとともに、芸術、文化などの幅広い教養を身につける。						
◆到達目標	この単元を通じて得た教養が、豊かな感性の発達につながる						
授業№	授業方法	授業内容①	授業内容②	使用教材	備考		
1～3	講義	パーソナルカラー①	色彩心理、色相環(有彩色・無彩色)、PCCS(色相環12色・トーン図)、アンダートーン	パーソナルカラーワークブック		非常勤講師	
4～6	講義	パーソナルカラー②	PI分析(PIとパーソナルカラー)、肌・髪・瞳の色分析と4シーズン、属性の特徴と見え方 ファッションイメージ・アクセサリ・模様	パーソナルカラーワークブック		非常勤講師	
7～9	講義	パーソナルカラー③	アンダートーン、4シーズン、三属性、トーン(トーンのイメージ・トーン理論)	パーソナルカラーワークブック		非常勤講師	
10～12	講義	パーソナルカラー④	4シーズンの復習(三属性・色・アクセサリ・模様)、PI分析(PIとパーソナルカラー)の復習 慣用色名と系統色名、慣用色名と色の由来	パーソナルカラーワークブック		非常勤講師	
13～15	講義	パーソナルカラー⑤	対比(対比・面積効果)、ドレープ(照明と見え方)、慣用色名復習	パーソナルカラーワークブック		非常勤講師	
16～18	講義	パーソナルカラー⑥	光と色(波長・反射・スペクトル)、文章問題、応用問題	パーソナルカラーワークブック		非常勤講師	
19～21	講義	パーソナルカラー⑦	骨格診断①～③	カラーマスターワークブック		非常勤講師	
22～24	講義	パーソナルカラー⑧	パーツチェック、パーソナルカラーの診断(自己診断シート)①②	カラーマスターワークブック		非常勤講師	
25～27	講義	パーソナルカラー⑨	食・色の効果、ナラティブで語ろう、プレゼンテーション	カラーマスターワークブック		非常勤講師	
28～30	講義	パーソナルカラー⑩	パーソナルヘアカラー、ファッションアイテム(スカーフ・アクセサリ・使い)お客さまに似合う色を伝えるには(カウンセリング法)	カラーマスターワークブック		非常勤講師	
31～33	講義	BB検定①				非常勤講師	
34～36	講義	BB検定②				非常勤講師	
37～39	講義	BB検定③				非常勤講師	
40～42	講義	BB検定④				非常勤講師	
43～45	講義	BB検定⑤				非常勤講師	
46～48	講義	BB検定⑥				非常勤講師	
49～51	講義	デッサン①	形のトレーニング 3回の授業内容について説明、手を描く(鉛筆デッサン)、髪の描き方の説明、漫画の模写、隣の人の髪を描く	鉛筆、消しゴム、鉛筆削り		非常勤講師	
52～54	講義	デッサン②	形のトレーニング 各種髪型の描き方、メイクの描き方、隣の人の髪を描く	鉛筆、色鉛筆、消しゴム、鉛筆削り		非常勤講師	
55～57	講義	デッサン③	デザイン画の描き方、隣の人の髪を描く	鉛筆、色鉛筆、消しゴム、鉛筆削り		非常勤講師	
58～60	講義	フォト①	SNSの正しい使い方			外部講師	
61～63	講義	フォト②	スマホでのフォト作品の作成講習	外部モデル		外部講師	
64～66	講義	フォト③				外部講師	
67～69	講義	フォト④				外部講師	
70～72	講義	フォト⑤				外部講師	
73	講義	ビジョントレーニング①	美容技術にも活用できる指の使い方			外部講師	
74	講義	ビジョントレーニング②				外部講師	
75	講義	ビジョントレーニング③				外部講師	
76	講義	ヘルスケア①	こころの悩みについて、電話健康相談サービスの使い方			外部講師	
77	講義	ヘルスケア②	メンタルケア 心理テストの結果と解説			外部講師	
78	講義	ヘルスケア③	ヘアケア 毛髪サイクル、壮年性脱毛症の原因、症状、ケアの方法			外部講師	
79	講義	ヘルスケア④				外部講師	
80	講義	ヘルスケア⑤				外部講師	
81	講義	ヘルスケア⑥				外部講師	
82～84	講義	アロマ①				非常勤講師	
85～87	講義	アロマ②				非常勤講師	
88～90	講義	フラワー				非常勤講師	
91～93	講義	グループワーク①	「人見知り」について(外部講師)、グループトーク、自己紹介			外部講師	
94～96	講義	グループワーク②	美容学校に入学して2年間の過ごし方			常勤教員	
97	講義	グループワーク③	美容業界で活躍している人のお話し			常勤教員	
98～100	講義	グループワーク④	スポーツ大会説明等			常勤教員	
101～103	講義	グループワーク⑤	美術鑑賞				
104	講義	グループワーク⑥	海外研修についてのお話し			常勤教員	
105	講義	グループワーク⑦					
106	講義	グループワーク⑧					
107～109	講義	グループワーク⑨	後期スタート オリエンテーション				
110～112	講義	グループワーク⑩	学園祭 模擬店準備等				
113～115	講義	グループワーク⑪	学園祭 模擬店準備等				

116～117	講義	グループワーク⑫			
118～120	講義	グループワーク⑬			
評価方法及び 基準	出席点=出席コマ数÷授業コマ数×100				
	【評価】90～100点→A評価 70～89点→B評価 60～69点→C評価 0～59点→D評価				
	出席点が59点以下の場合、担当教員の指定した課題を提出することにより、C評価(60点)として評価する。				